

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	抽選登録／人間環境特論 (Topics in Human and Environment)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	人間と自然の関係について		
担当者名 (Instructor)	渡辺 浩平(WATANABE KOHEI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ICC3440	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	定員: 30名		

授業の目標 (Course Objectives)

人間環境の多様な在り方を理解できるようになる。
現代的な環境問題を人間と自然の関係という視点から考える力を身につける。

This course explores the understanding of the various forms of existence of the human environment and the way to think about contemporary environmental issues from the relationship between humans and nature.

授業の内容 (Course Contents)

人間は自然とかかわりあいながら生きている。人間と自然の関係は文化的に多様であり、人間と自然をはっきりと分ける考え方もある。人間も自然の一部であるとする考え方もある。この授業では、(1)自然についての認識の文化的多様性(自然と文化)、(2)狩猟採集、牧畜、農耕といった生業を通じた人間と自然の関係(自然と生業)、(3)人間行動と環境の相互作用(自然と身体)というトピックについて講義を行う。また、それぞれのトピックについての映像鑑賞や議論を通して、人間と自然の多様な関係についての理解を深めていく。なお、授業スケジュールは、受講生の人数や関心などに応じて変更される可能性がある。

Humans live in a relationship with nature. The relationship between humans and nature is diverse. Some thinking clearly distinguishes humans from nature. In contrast, there is also thinking that humans are part of nature. This lecture explains the following topics:

- 1.The cultural diversity of perceptions of nature
- 2.Diverse interrelationships between humans and nature through livelihoods such as hunting and gathering, pastoralism, and agriculture
- 3.Interrelationships between human behavior and the environment

In addition, students will deepen their understanding of the interrelationship between humans and nature through viewing videos and discussing. Note that the class schedule changes depending on students' numbers and interests.

授業計画 (Course Schedule)

1. イントロダクション
2. 自然と文化① 人間と自然の境界
3. 自然と文化② 多様な自然
4. 自然と文化③ 学生によるプレゼンテーション及びディスカッション
5. 自然と生業① 狩猟採集、牧畜、農耕
6. 自然と生業② 生業と社会組織
7. 自然と生業③ 学生によるプレゼンテーション及びディスカッション
8. 自然と身体① 同調、情動、アフォーダンス
9. 自然と身体② 身体感覚と宗教
10. 自然と身体③ 学生によるプレゼンテーション及びディスカッション
11. 現代的課題①
12. 現代的課題②
13. 現代的課題③ 学生によるプレゼンテーション及びディスカッション
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

毎回の授業で指示する。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%) / 授業への参加姿勢(50%) / リアクションペーパー(10%)

テキスト (Textbooks)

特に定めない。授業内で資料を配布する。

参考文献 (Readings)

毎回の授業で適宜紹介する。

その他 (HP 等) (Others (e.g. HP))

なし

注意事項 (Notice)